

2022年9月20日  
株式会社ダスキン

9月25日は「主婦休みの日」、家事と家族の大切な時間を見直そう！

## ダスキン メリーメイド「家事の悩みに関する調査」を実施

約7割がコロナ禍での家事増加を負担に感じており、家事に対する不満は、男女で大きな差も。  
家事代行サービス利用者の3人に1人が夫婦間の喧嘩が減ったことが明らかに！

株式会社ダスキン（本社：大阪府吹田市、社長：大久保 裕行）が展開するメリーメイド事業（家事代行サービス）は、9月25日の「主婦休みの日」を前に、既婚もしくはパートナーと同居している男女400人を対象に、日々の家事に関するお悩みや実情を明らかにする「家事の悩みに関する意識調査」を実施しました。

### 調査ハイライト

- ✓ コロナ禍の在宅時に家事が増えたと回答した人の中で、**家事の時間が増えたことにより負担に感じている人は約65%**
- ✓ 家事の平均時間は**1日平均1.76時間！男性1時間、女性2.5時間**と、その差は**1.5時間**
- ✓ 夫婦間で不満に思うことは「**家事・家事分担**」が最も多い結果に！  
男性の「家事・家事分担」を不満に感じている割合が**約24%**に対して女性は**約50%**と**女性の不満度は男性の約2倍**
- ✓ **夫婦が思う配偶者にやってほしいことのTOPは男女ともに「掃除」**
- ✓ **家事にかかる時間を短くしたいと考えたことがある人は75%**もいる結果に
- ✓ 家事の時間を別のことに使えるなら何をやりたいか、  
**1位「自分の趣味の時間に使う」2位「家族との時間に使う」**が上位に
- ✓ 家事代行サービスやハウスクリーニングを利用したことのある人の中で  
**3人に1人が利用するようになってから、夫婦間の喧嘩が減った**と回答

### 調査概要

調査名：家事の悩みに関する意識調査  
調査方法：調査パネルによるインターネット調査  
日時：2022年8月28日（日）～8月29日（月）  
調査対象：既婚・パートナーと同居をしている男女  
年齢：20～50代  
地域：全国  
回答数：400人

## 1. コロナ禍の在宅勤務時、家事の時間が増え負担に感じている人は約 65%

コロナ禍で主流となりつつある在宅勤務ですが、コロナ禍での在宅時に家事が増えたと回答した人の中で、**家事時間が増えたことにより負担と感じている人は全体の約 65%**という結果になりました。家事に対する負担度合いは高く、日々の生活の中でどのように家事をこなし負担を減らせるかは、家族の生活、家族との貴重な時間の過ごし方において非常に大切なポイントであることがわかります。

**Q. 家事をする時間が増え、負担に感じることは多かったですか。**  
(在宅時に家事をする時間が多かったと回答した人 N=102)

■とても負担に感じていた ■やや負担に感じていた ■あまり負担には感じていなかった ■全く負担に感じていなかった



## 2. 一日にかける家事の平均時間は平均 1.76 時間！

**男性は 1 時間、女性は 2.5 時間と、その差は 1.5 時間にも**

一日にかける家事の平均時間は全体で **1.76 時間**という結果でした。男女別にみると、**男性は 1 時間、女性は 2.5 時間**と、その差は **1.5 時間**にもなり、1 週間に換算すると、男女の家事負担時間の男女差はなんと **10 時間**にもものぼります。

**Q. 現在一日のうち家事にかかる時間はどのくらいですか。(N=400)**

			30分未満	30分以上 1時間未 満	1時間以 上2時間 未満	2時間以 上3時間 未満	3時間以 上5時間 未満	5時間以 上	平均
Total		%	20.5	9.0	25.8	20.3	18.3	6.3	105.6
【性別】	男性	%	29.5	17.0	34.5	11.5	6.5	1.0	60.6
	女性	%	11.5	1.0	17.0	29.0	30.0	11.5	150.6

※赤色ハイライト部分は数値が高く、青色ハイライト部分は数値が低いことを示す。

## 3. 夫婦間で不満に思うことは「家事・家事分担」が最も多い結果に！

**男性の「家事・家事分担」を不満に感じている割合が約 24%に対して**

**女性は約 50%と女性がより不満に思っている割合が高いことが判明**

夫婦間で不満に思うことは**家事・家事分担**が最も多い結果となりましたが、**男性の「家事・家事分担」を不満に感じている割合が約 24%に対して、女性は約 50%と女性がより不満に思っている割合が高いことがわかりました。**共働きの世帯が増えてきていますが、女性側が家事の負担を大きく感じている世帯が多いことがわかります。

**Q.あなたが夫や妻に対して、頻繁に不満に感じることは何ですか。(N=400)**

		家事・家事分担について	仕事について	交友関係について	趣味について	その他
Total		% 36.8	20.0	8.8	8.5	3.5
男性	Total	% 24.0	25.5	11.0	7.0	2.0
	20代	% 24.0	22.0	10.0	2.0	2.0
	30代	% 28.0	28.0	10.0	16.0	0.0
	40代	% 26.0	26.0	22.0	10.0	4.0
	50代	% 18.0	26.0	2.0	0.0	2.0
女性	Total	% 49.5	14.5	6.5	10.0	5.0
	20代	% 52.0	14.0	8.0	10.0	8.0
	30代	% 50.0	16.0	4.0	12.0	4.0
	40代	% 46.0	12.0	10.0	14.0	4.0
	50代	% 50.0	16.0	4.0	4.0	4.0

※赤色ハイライト部分は数値が高く、青色ハイライト部分は数値が低いことを示す。

**4.夫婦間のすれ違いをなくすために配偶者にやってほしいことの TOP は男女ともに「掃除」**

夫婦間のすれ違いをなくすために配偶者に一番やって欲しい家事として**男女共に TOP は「掃除」**でした。特に女性は約**66%**と多数が「掃除」と回答しており、**料理**などよりも比較的簡単にできる家事として「食器洗い」や「ゴミ出し」なども多数の回答が見られました。家事の中で後回しにしがちな掃除だからこそ、夫婦ともに相手にやって欲しいと思っていると考えられます。

**Q.すれ違いをなくすために同居者にしてほしいことは何ですか。(「家事・家事分担」が不満と回答した人 N=147)**



		掃除	料理	食器洗い	洗濯	ゴミ出し	買い物	その他
Total	%	60.5	40.1	48.3	29.9	38.8	19.7	4.1
男性	Total	50.0	43.8	39.6	31.3	22.9	12.5	4.2
	20代	41.7	33.3	41.7	25.0	16.7	8.3	8.3
	30代	57.1	57.1	50.0	28.6	14.3	14.3	0.0
	40代	30.8	46.2	30.8	46.2	38.5	23.1	0.0
	50代	77.8	33.3	33.3	22.2	22.2	0.0	11.1
女性	Total	65.7	38.4	52.5	29.3	46.5	23.2	4.0
	20代	57.7	46.2	50.0	34.6	34.6	11.5	3.8
	30代	80.0	44.0	56.0	36.0	56.0	36.0	0.0
	40代	69.6	34.8	60.9	34.8	47.8	26.1	0.0
	50代	56.0	28.0	44.0	12.0	48.0	20.0	12.0

※赤色ハイライト部分は数値が高く、青色ハイライト部分は数値が低いことを示す。

## 5. 家事の時間を別のことに使えるなら何をやりたいか、

### 1 位「自分の趣味の時間に使う」2 位「家族との時間に使う」が上位に

「生活の中で負担となっている家事にかかる時間を短縮したいと思いますか。」という質問に、「とてもそう思う」、「ややそう思う」と回答した人は **75%**と高い数値になりました。ロボット掃除機や食洗器などの便利な家電が増えている一方で、**まだまだ家事に悩まされている方が多いことがわかります。**

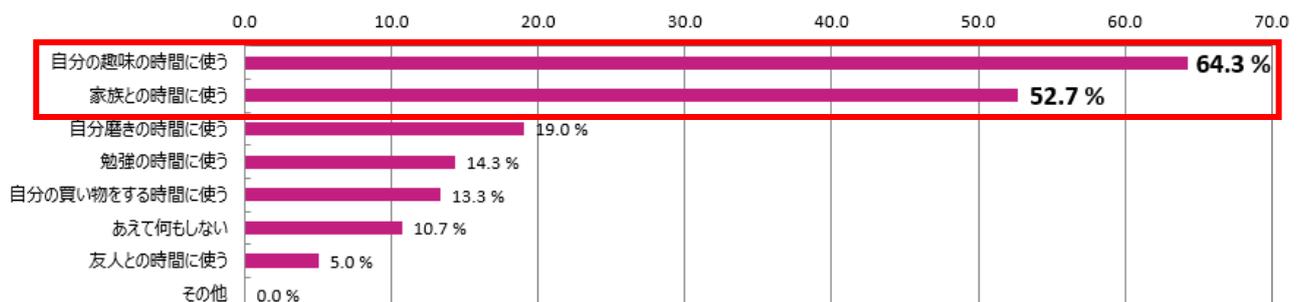
#### Q. あなたは、家事にかかる時間を短縮したいと思いますか。(N=400)

■ とてもそう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない



また、家事を短縮できたらどんなことに時間を使いたいかという質問では **1 位は 64.3%**で「自分の趣味の時間に使う」、**2 位は 52.7%**で「家族との時間に使う」となり、他選択肢と比較しても圧倒的に高い結果となりました。

#### Q. 家事を短縮できたら、どんなことに時間を使いたいですか。(家事にかかる時間を短縮したい人 N=300)



## 6.家事代行サービスやハウスクリーニングを利用したことのある人の中で

### 約 3 人に 1 人が利用するようになってから夫婦間の喧嘩が減ったと回答

最近注目されている「家事代行」や「ハウスクリーニング」などのサービスですが、サービスを利用したことのある人の中で、約 3 人に 1 人が利用するようになってから夫婦間の喧嘩が減ったと回答しました。

利用経験者からは「自分ではできないところの掃除までしてくれてすっきりする。みんな笑顔になる（30 代女性）」「家事を自分たちでしなければいけないという考えが、人に任せて自由な時間を増やすことも選択肢の一つであると変わった（30 代男性）」といったコメントも挙げられました。

#### Q. 利用したことで、夫婦間でのすれ違いや不満に思うことに関してどう変化しましたか。(家事代行・ハウスクリーニングを利用したことがある人 N=58)

■とても減った ■やや減った ■変わらない ■やや増えた ■とても増えた



#### ▼サービス利用に関する主な回答

「自分ではできない専門的なお掃除をしてもらってとても助かった（40 代女性）」

「家事に時間を割かず済むので時短になるし、時間を有効活用できて家族にゆとりが生まれる（30 代男性）」

「家族の時間が増える（20 代女性）」

「家事を自分たちでしなければいけないという考えが、人に任せて自由な時間を増やすことも選択肢の一つであると変わった（30 代男性）」

「自分ではできないところの掃除までしてくれてすっきりする。みんな笑顔になる（30 代女性）」

## 7.知っている家事代行やハウスクリーニングサービス、TOP はダスキン「メリーメイド」

400 人に知っている家事代行やハウスクリーニングサービス聞いたところ、3 人に 1 人が「ダスキン メリーメイド」の名前を挙げました。ダスキン メリーメイドは、今年で事業開始から 33 年を迎え、全国 773 拠点(2022 年 3 月末時点)から、お客様のご要望に応じたきめ細やかな家事代行サービスをご提供しています。

今回の調査でコロナ禍での家事時間の増加を負担に感じている人が多いこと、また男女で家事にかけている時間や負担に差があることが判明しました。9 月 25 日の「主婦休みの日」に、家事の時間を見直し、家事代行サービスを使って、家族や自分の時間を充実させてみませんか？

## 企業概要

社名：株式会社ダスキン 所在地：大阪府吹田市豊津町 1 番 33 号

代表者：大久保 裕行 業種：サービス業

URL：<https://www.duskin.jp/>

## 家事代行サービス「メリーメイド」とは

**米国発“お掃除のプロ”としてスタート。お客様の声にもきめ細やかに対応**

ダスキンは 1989 年、アメリカでも有数のホームクリーニング会社メリーメイド社と提携、「お掃除おまかせサービス」をスタートさせました。家事に時間を割けない共働き夫婦や単身者の増加にいち早く目を向けると共に、ご契約中のお客様から「洗濯などの家事も代行して欲しい」「もっとフレキシブルに対応して欲しい」というお声をいただき、2000 年から時間単位でさまざまな家事を請け負う「家事おてつだいサービス」を開始しました。確かな品質と豊富なメニューが高い評価を受け、サービス開始から 30 年間、売上が成長し続けています。（※コロナ禍の 2020 年度を除く）



**なぜメリーメイドは家事代行サービス市場で 30 年間以上も支持され続けるのか**

メリーメイドの新人はまず 1 週間の教育を受け、半年にわたる OJT で育成し、その後も月 1 回の勉強会で知識とスキルを磨きます。

スキルアップすると現場をまとめるキャプテンになり、さらに新人を教育するトレーナーに昇進するなど組織体系も充実。社内に掃除技術を向上させ、保持する仕組みが整っています。

また、メリーメイドは 47 都道府県全てに FC 店舗を展開し、その数は 773 拠点(22 年 3 月末時点)に及ぶ“地元密着型事業”。店舗の責任者が目の届く範囲で人を雇用し、研修を行っています。

